

製品名: KLF13 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00491**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 31 kDa; Observed MW: 31 kDa

抗原情報

遺伝子名	KLF13 KLF13; BTEB3; NSLP1; Krueppel-like factor 13; Basic transcription element-binding protein 3;
別名	BTE-binding protein 3; Novel Sp1-like zinc finger transcription factor 1; RANTES factor of late activated T-lymphocytes 1; RFLAT-1; Transcription factor BTEB3; Transcription factor NSLP1
遺伝子 ID	51621
SwissProt ID	Q9Y2Y9
免疫原	抗血清は、ヒト KLF13 の Lys166 の非アセチル化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 131-180

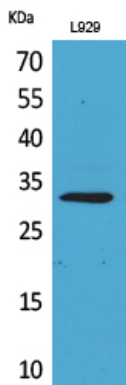
背景

活性化因子 SP1 と競合して、GC に富む DNA 要素である BTE サイトに結合して転写を抑制します。

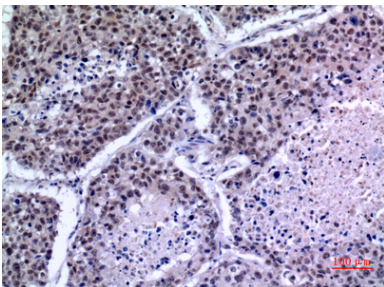
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

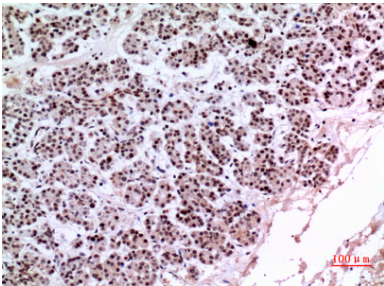
画像データ



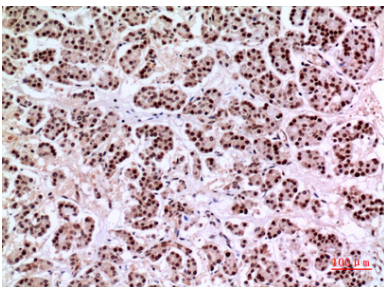
KLF13 抗体を使用した L929 溶解物中の KLF13 のウエスタン ブロット分析。



KLF13 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



KLF13 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



KLF13 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。